

授業科目名： 解剖学	教員の免許状取得のため の選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：北原 秀治 担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 生理学(運動生理学を含む。)		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 人体の各器官系の構造と機能を理解し説明できる。</p> <p>(2) 運動力学の基本的内容について理解し、運動を科学的に説明することができる。</p> <p>(3) 運動に関わる身体各部分の構造や機能について説明できる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>人間の体の各パーツの構造と名前、そして機能を知ることと、それらがいかに調和を保っているかを学修する。人体解剖学及び組織学の知識は、外傷や病気を理解する基礎となるため、この知識を基に、医学に関する知識を養う。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：解剖組織学総論(4大組織と体の構造)</p> <p>第2回：解剖学1：骨学(骨、関節の構造)</p> <p>第3回：解剖学2：筋学(骨格筋、平滑筋、心筋)</p> <p>第4回：解剖学3：消化器1(口腔～肛門)</p> <p>第5回：解剖学4：消化器2(肝、胆、膵)</p> <p>第6回：解剖学5：循環器(心臓、肺、血管、リンパ管)</p> <p>第7回：解剖学6：呼吸器(気管、肺、呼吸の生理)</p>			

第8回：解剖学7：泌尿器、生殖器

第9回：解剖学8：中枢神経（脳、脊髄）

第10回：解剖学9：末梢神経1（脳神経）

第11回：解剖学10：末梢神経2（脊髄神経）

第12回：解剖学11：感覚器1（視覚、聴覚、平衡覚）

第13回：解剖学12：感覚器2（味覚、嗅覚）、外皮

第14回：解剖学13：炎症性疾患、外傷（骨折、脱臼）、腫瘍性疾患の病態学

第15回：解剖学14：骨、筋の生理学、体の恒常性

定期試験

*スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

教科書

「解剖学 改訂第2版」 岸清著（全国柔道整復師学校協会監修） 医歯薬出版

参考文献

授業プリント

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。